

中村かずひと

一宮市議会議員
薬剤師・薬学博士

二児の父

かがやけ! ずっと!
ひとが健幸!
一宮市へ

連合愛知
政策推進議員

討論資料

中村かずひとのプロフィール

1976年(昭和51年)生まれ。一宮市浅野で育ち、家族(妻と一男一女)とともに、浅野で暮らす。2020年から保護犬も家族に加わる。
参議院議員大塚耕平公設第一秘書、愛知県薬剤師会理事等を務めた後、「子育て、医療、介護」の充実が必要と一念発起し、2015年に一宮市議会議員選挙に挑戦し、初当選。その後、福祉健康委員長、監査委員を務め、現在、一宮市議会議員、一宮市薬剤師連盟顧問、連合愛知政策推進議員懇談会幹事、UAゼンセン準組織内議員として活動。

【学歴】

1983年 一宮東幼稚園 卒園
1989年 一宮市立浅野小学校 卒業
1992年 一宮市立南部中学校 卒業
1995年 一宮高等学校 卒業
1999年 名古屋市立大学薬学部 卒業
2001年 名古屋市立大学大学院薬学研究科博士前期課程 修了
2016年 愛知学院大学大学院薬学研究科博士課程 修了



私も応援しています

中村かずひとさんは、子を持つ親として、薬剤師として、さらには国会議員秘書経験者として、この8年間、市政の牽引役として活躍してきました。
一宮市が、子どもにも、子育て世代にも、高齢者にも住みよい街であり続けるために、出産・育児、教育、医療・介護等に力点を置いた施策に取り組む中村さんを応援します。



参議院議員
大塚耕平

中村かずひと後援会会則(抜粋)

- ・この会は、中村かずひとの政治活動を支援し、地域社会の発展を目的とする。
- ・この会は、本会の趣旨に賛同する者をもって組織する。

中村かずひと後援会

〒491-0871 一宮市浅野白山39
携帯：090-7695-8366 FAX: 0586-77-1568
E-mail : naka.kazu.1976@outlook.jp



ブログ

かがやけ! ずっと! ひとが健幸! 一宮市へ ~つくり、新しい答え。~

健康に暮らす。そして、働く

一宮市の健康寿命は、男性79.9歳、女性84.2歳(令和元年)です。仕事と家庭の両立を容易にするため、健康で幸せに暮らす期間を長くし、子育て・介護の負担を軽くしていきたい。認知症、悪質クレームなどの諸課題に向き合い、子育て・介護・治療をしながら安心して働くことができる環境構築を目指します。



人づくりこそ、街づくり

一宮市の人口は、38.2万人(令和3年末)で、減少が続いています。40年後には28.2万人にまで減少するとの報告がある中、「子は社会の宝」と考え、幼児教育・学校教育の充実を図ります。繊維や自動車をはじめとする基幹産業やその人材の育成、カーボンニュートラル社会実現への施策を進めます。



命と暮らしを守る

コロナ禍の中、薬剤師として新型コロナ感染者への医療提供、一宮市民へのワクチン接種支援などを行ってきました。薬剤師としての経験を活かし、今後、危惧される災害や感染症などの危機から一宮市民の命と暮らしを守るための取り組みを推進していきます。



生き物と人との共生

一宮市は令和3年に中核市となり、独自の動物愛護事業に取り組み始めました。犬や猫などのペットと暮らす一宮市民も増加傾向です。生き物の命の大切さと環境配慮への理解を深め、生き物と人が共生できる社会を目指し、動物愛護事業の充実を図ります。

浅野から一宮市を元気に

浅野を縦断する名岐道路の早期延伸を目指します。この隣接地域の交通安全や治水などの身近な課題に、誠実に取り組みます。開園100年以上となる浅野公園とその歴史を活かした街づくりに努めます。



これまでの活動

GWの可燃ごみの収集開始

平成28年6月提案⇒令和元年、一宮市内で実施されていなかったGWの可燃ごみ収集が開始された。



開始

図書館学習室の予約システム導入

平成28年12月提案⇒令和3年、一宮市中央図書館学習室利用時のWeb予約システムが導入された。



導入

保育園の安全対策強化

令和2年9月提案⇒一宮市内公立保育園において、令和3年に警備委託が導入、令和4年に防犯カメラが設置された。



強化

働く仲間の声を国会へ

【平成30年】(自動車産業) 自動車関係諸税の抜本見直しを求める意見書を提出
【平成31年】(サービス産業) 「顧客からのハラスメント」等の抜本的な対策を求める意見書を提出
【平成27年~令和4年(毎年)】(教育) 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書を提出